



山 田 洋 子
(柊の会)

旧十和田湖小学校の土地に 住宅の整備を

実現性等を検討していく

問 十和田湖畔地区における国立公園先端モデル事業の中で、旧十和田湖小学校の土地を活用し、働く人のための住宅を整備する考えは。

答 旧十和田湖小学校のグラウンドの活用は、住まいの確保に対して有効な提案の一つと考えますが、防災ヘリ・ドクターヘリの発着地として利用されていることから、庁内関係課から意見を聞きながら実現性等を検討していきます。

問 今年度実施した占い場の調査結果は。

答 市史編さん事業の中で十和田山信仰の年代等の解明を目的に、主に占い場周辺の湖底の予備的調査を実施したところ、銭を主体とした遺物の広がりを確認し、古いもので江戸時代以前に遡ることが判明しました。来年度は、遺物の一部引上げ等、本格的な調査を行い、結果については、調査報告会を開催し、市民の皆様にも広く紹介していきます。

問 空港や駅からの二次交通の現状は。

答 レンタカーの利用が最も多い状況であることから、さらなる誘客を図るため、策定中の次期観光戦略では、二次交通の整備を重点的課題の一つとして掲げ、ダイヤ・運行経路の調整等による利便性の向上や観光資源を活かした旅行商品の造成・磨き上げを行い、交通の魅力向上に努めていきます。

問 2026年、十和田湖は国立公園指定90周年を迎え、記念事業を実施してほしいと考えるが、前回の80周年記念行事の内容は。

答 平成28年7月から10月にかけて、十和田湖畔休屋において花火大会をはじめとした各種イベントの開催やSNSを活用したプロモーション等を実施し、期間中に約1万8,000人が来場するなど、一定の誘客が図られたものと考えています。



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

保育料の完全無償化を

段階的な無償化も視野に判断

問 市長が公約に掲げる子育て支援・子ども支援の充実のための3歳児未満の保育料無償化に必要な予算規模とその財源は。

答 すでに第3子以降の保育料を無償化していますが、完全無償化した場合、さらに約1億円の恒常的な財政負担が見込まれるため、各種事務事業の見直し等をはじめ、今後の財政の見通しを検証するとともに、国、県の子育て支援策の動向を注視し、段階的な無償化も視野に入れ判断していきます。

問 今年は国立公園の指定等に尽力した大町桂月の没後100年となり、大町桂月を語る会では式典を開催する予定と聞かすが、市も関わる考えは。

答 式典の詳しい内容を把握していないため、大町桂月を語る会の意向を確認します。

問 地域交流センター「とわふる」は、現代美術館のサテライトの役割もあると思うが、現代美術館との連携はどうなっているか。

答 現代美術館から中心市街地への回遊を促し、にぎわいを創出するため、現代美術館と連携し企画展を実施しているほか、作家によるパフォーマンス等の会場として利用されており、令和7年度も企画展の展示を行う予定です。

問 大深内小中学校の児童・生徒が共にスクールバスを利用できるよう、制度の見直しや試験運用を行う考えはあるか。

答 中学生のスクールバスの利用については、令和5年4月の学校統合による通学距離等への影響がないことに加え、小学生全児童が乗車した場合、座席に余裕がないことから、現時点では見直しや試験運用を行う考えはありません。